

文部科学省認可通信教育
(第4種 定形外郵便)
令和2年 4月 3日発行

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしあたり

第115号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

OPENなUNIVERSITYをめざして(滋賀学習センター所長 平井 肇) ……	1
「教養」はどこへ行く(滋賀学習センター前所長 吉川 栄治) ……	2
トン語の漢字表記(滋賀学習センター客員教授 兼 重 努) ……	3
謝辞(卒業生代表 小川 裕司) ……	4
退任教員の挨拶 ……	5
客員教員の紹介 ……	7
セミナーのご案内 ……	9
事務室からのお知らせ ……	11



OPEN な UNIVERSITY をめざして

滋賀学習センター所長 平井 肇



この度、滋賀学習センター所長の職を拝命いたしました平井 肇(ひらい はじめ)です。3 月まで勤めていた滋賀大学での職務内容とはかなり違いますが、できるだけ速やかに仕事に慣れて、皆さまのお役に立ちたいと思います。

私は山陰の海辺の町で生まれ、大学進学後 32 歳まで東京で過ごしました。途中 3 年間で、アメリカで学生生活を送りました。その後滋賀に移り住んで 33 年、時代は昭和から平成、そして令和へと移り変わりました。人生の半分以上を琵琶湖のほとりで過ごし、今ではすっかり「湖国人」です。

私は学部では歴史学を、大学院では社会学を専攻しました。前任校では、体育学と国際理解教育に関する教科を担当していました。一見すると「支離滅裂」(?)で、「どんな関連性があるの」とよく不思議がられますが、私なりに一貫性はあると思っています。私にとって研究の対象は常にスポーツとその周辺に関わることで、文化としてのスポーツの意味やスポーツと社会の関係を、時代や地域を越えて考えてみたいという姿勢で教育・研究・社会活動に取り組んできました。

スポーツをすることはもちろん、観ることも、読むことも、語ることも、スポーツに関わることなら何でも大好きです。私にとっては、スポーツに関係することなら何でも研究のテーマになり得ます。特に、今年 2020 東京オリンピック・パラリンピックの年です。セミナーや面接授業で、皆さまと一緒に学ぶ機会があると思います。その時は、スポーツについて多めに語り合しましょう。

ところで、みなさんは「放送大学ってどんな大学」と尋ねられたときに、どんなふうに答えていますか。大学の名前は、ふつう建学の精神や目的を体現した言葉や、創始者や団体の名前、時代や地名、専門性を表したものが多くではないでしょうか。ところが、放送大学は一見、これらのどれにも当てはまらないようです。「放送を通して学ぶ」という学びの手法が大学名になったといった点では、とてもユニークな存在だと思います。これがある意味で建学の精神や目的を体現していると言えなくもないのですが、大学の真の姿がわかりにくいとの指摘があるのも十分理解できます。

放送大学の英語表記は、THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN です。私には、こちらの方が大学の性格をよりの確に表しているように思います。ちなみに open を英和辞典で調べてみると、「開かれた」「広々とした」「囲いのない」「自由である」「寛容な」といった日本語が載っています(ウィズダム英和辞典)。この open という言葉に、私は年齢や職業、住む場所等にとらわれずに、人々が時間や空間を超えて、自分が関心のある領域や課題に多様な視点から柔軟に学ぶ機会を提供するという、放送大学の意義と役割が具現化されていると感じています。

みなさんはふだんテレビやラジオ、インターネット等を通して勉強をしていますが、これだけで学びが完結するわけではありません。学習センターで教師や学友と時間や場を共有することで、よりいっそう広く深く学ぶことができ、いろいろな体験ができるはず。面接授業やセミナー、図書の閲覧、学習相談、サークル活動等々、学習センターだからこそできることはたくさんあると思います。放送を通じたふだんの勉強と学習センターでの活動は、放送大学における学びの両輪です。

英語の UNIVERSITY の語源はラテン語の UNIVERSITAS で、全体、宇宙、世界、組合といった意味があるようです。滋賀学習センターが、みなさまにとって、知の UNIVERSITAS のような存在に少しでも近づくように、学生と教職員が楽しく力を合わせて前に進みたいと思います。

何卒、よろしくお願いいたします。

「教養」はどこへ行く

滋賀学習センター前所長 吉川 栄治

放送大学は私の人生で最もホワイトな職場でした。過重なノルマも残業も肩叩きもありませんでした。飲み会の席も、どこかの大学のように不祥事やら人減らしやらケチな学長やらの不景気な話題ではなく、円熟した大人の集団らしく、樹木葬や永代供養や認知症の予防策など未来志向の話に花が咲きました。

滋賀学習センターは天国のように静かな職場でした。周囲の森では鶯が鳴き、館内では閑古鳥が鳴いていました。ロビーには人影がなく、所長室も物音一つしないため、私が寝ているのではないかと疑う学生もいたようですが、勤務中に寝るわけがありません。寒さと老衰のため時々意識を失っていたのです。

図書・再視聴室の利用者数の推移をみると、学習センターに人が来なくなったのは、所長が無策なためでも気絶していたためでもなく、放送授業のインターネット配信とBS移行で来所が不要になったからです。利用者は10年間で6割減りました。同時に学生の平均年齢は上がり、過疎化に拍車がかかりました。

学習センターにかぎらず、この国では雑踏を見なくなりました。商店街、映画館、百貨店、遊園地、縁日の夜店……小バエのようにいたあの日本人はどこに消えたのでしょうか。晩婚化・貧困化・少子化・高齢化・化石化が進み、私の町からは婆ちゃんと鉢植えと薬局と整骨院以外姿を消しました。敬老会と化した地蔵盆、足がもつれる大縄とびとカゴに届かない玉入れでもりあがる地区運動会はなぜか続いています。

日本人は高齢化で体力が衰え、少子化で知力も衰えました。「学生が年々バカになる」——こんな会話が大学の廊下で交わされたのは誰でも就職できた80年代末バブル期です。中曽根臨教審で大学設置基準が緩和されたのが91年、18歳人口のピークが92年。若者が減る一方、右肩上がり大学・学部は増え続け、進学率は上昇し質は急落、教養部も解体され、99年には「分数ができない大学生」が話題になりました。

政治経済は一段と悲惨です。平成の失われた30年で世界のGDPに占めるシェアは18%から6%に縮み、非正規雇用は2.5倍、生活保護世帯は2.6倍、社会保障費は2.8倍、累積債務は5.6倍に膨らみました。ぶっちぎりの借金国家に転落したこの期間、活字離れが加速し本の売上は半減、はては漢字の読めない総理大臣が出現しました。平成の16人の首相のうちなんと12人が、能力競争とも庶民感覚とも無縁な世襲議員です。

わけてもA首相は、森羅万象担当大臣兼立法府の長(本人談)として、比類ない稚性と貧格と酷語力で痴呆創生・一億総脱力を実現しました。教養あふれる野次、天性の作話能力、自己消去機能付き公文書、真摯で丁寧な説明と高性能シュレッダーを駆使、日本語の新たな地平を切り開き、道徳の生きた教材となる一方、世界の真ん中で地球儀とあさつてを俯瞰しつつ名譽ある蚊帳の外害交を展開、与太者トランプにも毅然とした朝貢姿勢を貫いて、悪夢の民主党政権で失われたヌッポン人の誇りをトリモロシました。

法と言葉と節度をかなぐり捨てた前代未聞の腐敗政権の登場は、この社会の知的退行の象徴です。前回の東京五輪の時、経済成長率は10%、高齢者人口は5%でした。それが0%と30%になり、年金財政は破綻、介護難民があふれ、大学は人員削減にあえぐ中、同じ踊りを踊っている現状に救いのなさを感じます。

私が生まれた1949年の出生数は史上最大の270万、長男が生まれた74年は203万でした。2016年に100万を切り、昨年90万を割り、明治初期の水準にもどりました。戦後を牽引した団塊の世代が退場し、日本は歴史の山を越えました。このまま向上心も活力も人口もしぼみ続ければ、放送大学は下降の一途でしょう。

元文部官僚の寺脇研氏は放送大学無償化を提言しています。単価が低いので、同じ予算でも広範な就学効果が見込めるからです。世界に水をあげられた生涯学習の底上げは社会の成熟にもつながります。元気で前向きでよく喋りよく笑う日本人が復活する日を、今日も認知症の母親を介護しながら祈っています。

トン語の漢字表記

滋賀学習センター客員教授 兼重 努

中華人民共和国は漢民族と 55 の非漢族から構成される多民族国家である。多くの民族は独自の民族言語を持っている。文字に関しては、自民族の言語を書き記す独自の民族文字を持っていた民族(チベット族、ウイグル族、モンゴル族など)と独自の民族文字を持たず、漢字や方塊文字(漢字を改造した文字)を使ってきた民族(ペー族、チワン族、ミャオ族、トン族など)に分かれる。後者に対しては 1950 年代に中国共産党が主導してラテン文字を使って民族言語を表音的に表記する民族文字が創られた例もある。

私が研究しているトン族はタイ語に近い民族言語(トン語)を持つが、独自の文字は持っておらず、漢字と方塊文字を使ってきたが、1950 年代にラテン文字をもとに表音文字であるトン文字が国によって創られた。トン語は漢語(中国語)とは語法は近いものの、語彙は大きく異なる。例えば、「良い」という意味の漢語「好」(hǎo)に相当するトン語は(トン文字表記では)lail である。トン語には9つの声調(トーンの高低)があり、トン文字表記の末尾の一文字(l, h, c, v, x, k, p, s, t)は声調を表している。

トン文字はトン族内部でも殆ど普及していない。トン族同士であっても、文字でやりとりをする時(手紙やメールなど)には、漢字を使って漢語で書く人が圧倒的多数なのである。漢語ではどうしてもカバーしきれない領域(例えばトン語の歌謡や歌劇の歌詞・台詞など)を、できるだけトン語に忠実に書写したい場合においても、大多数の人々は漢字を使っている。以下その一例を紹介しよう。

本人以外は読解不能?

知り合いのトン族男性が紙に「天乃天好建楼美…」と書いていた(ピンイン表記だと“tiān nǎi tiān hǎo jiàn lóu měi…”)が、字面を何度見ても意味不明だ。彼がトン語で“menl naih menl lail jiml louc meik…”と発音してくれて初めて、「今日は吉日、新しい鼓楼を建てる…」という意味なのだ、と理解できた。

まず「天乃天好」の部分。彼が「天」(tiān)の字を menl と発音したのはトン語 menl が漢語「天」と同義(「日」という意味)だから。つまりトン語 menl を漢字「天」の字義を借りて表記したわけだ(借義)。また漢字「好」(hǎo)も借義によるトン語 lail の表記だ。一方、漢語「乃」(nǎi)は、漢字の意味を無視し、その音を借りてトン語 naih(「これ」という意味の指示語)を表記したものだ(借音)。トン語では指示語や形容詞は名詞の後ろに置かれるため、「天乃」は「今日」、「天好」は「良い日(=吉日)」という意味であり、「天乃天好」の日本語訳は「今日は吉日」となる。

次に「建楼美」の部分。「建てる」という意味のトン語 jiml には、漢字「建」(jiàn)が当てられている(借義)。トン語 louc は漢語「楼」(lóu)の借用語であろう。漢語「楼」(lóu)は、2 階建て以上の建築物一般を指すが、ここではトン語 louc は「鼓楼」(太鼓と備えた楼閣)を指す。厄介なのは「美」(měi)という漢字だ。何故ならばここでは少なくとも3通りの解釈の可能性があるからだ。①「美しい」という意味のトン語に当てた借義字なのか、②meix(「木造の)」あるいは③meik(「新しい」というトン語に当てた借音字なのか? 字面をいくら眺めても第三者には判断できない。彼が「美」の字を meik と発音して初めて、「建楼美」はここでは「新しい鼓楼を建てる」という意味、と第三者は確認できるのだ。

彼に限らず、多くのトン族の人々は借音、借義を使い分けながらトン語を漢字で表記しているが、規範性と汎用性に欠け、極めて恣意的であり、第三者が正しく読み取るのは非常に困難である。トン族社会においてはトン語を漢字で表記する際の規範や正書法を定めて来なかった。それは何故なのであろうか? トン族社会における漢字使用の特色を明らかにするうえで、この問いの解明も必要となろう。

謝 辞

教養学部 生活と福祉コース
卒業生代表 小川 裕司



私は、このたび、放送大学の卒業要件を満たし、教養学士の学位を得ることができました。本来なら学位記は、授与式にて滋賀学習センターの吉川先生から頂くはずでした。ともに卒業する学友諸氏と喜びを分かち合えるはずでした。

しかし、昨年十二月に発見された COVID-19（新型コロナウイルス）の感染が世界的に拡大する中で、この春、放送大学の学位記授与式ははじめ全国の多くの催しを取りやめとなりました。効果的な対策もない現状では、私たちもさまざまな影響を免れることはできません。これは仕方のないことですが、私たちの社会生活はこんなにも簡単に脅かされるのかと、改めて思い知らされました。

晴れの機会を失い、残念な思いをしている学友も大勢いることでしょう。とはいえ、私たち一人ひとりがこれまで積み上げてきた学びは、それぞれがそれぞれの場所において誇りにできるものだと思います。学位記授与式は行われませんが、ここに謝辞を認める機会を頂きましたので、私は、滋賀学習センター所属の卒業生の代表として、その証を書きとどめておくことといたします。

最新の知見を惜しみなく紹介してくださりながら、学ぶ機会を与えてくださった先生方、お世話になりました。励まし合い喜びも苦勞も分かち合った学友の皆様、ありがとうございました。また、勉学や学生生活を支えてくださった職員の皆様にも感謝いたします。

さて、私が放送大学から頂く学位記は、これが二通目になります。私は、2015 年度に心理と教育コースで一回目の卒業をしました。今回は、生活と福祉コースでの二回目の卒業です。いずれも、卒業研究に取り組みましたが、実を言えば、今回は満足のいく研究レポートを仕上げることはできませんでした。前回は、若いころから気になっていた「ことばの認知」に関するテーマで研究をしました。当時は、研究できること自体うれしくて仕方がない、といった感じで、もちろん不安も悩みもありましたが、ゴールまで駆け抜けることができました。放送大学の学歌の一番の『生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ』という歌詞をそのまま実感しておりました。

そして、続けて生活と福祉コースに再入学したのは、自分が関わっている対人援助の仕事の意義を、卒業研究として考察し、形にしたいと考えたからです。学歌の二番の『知は力 よりよい生（いのち）を拓くため』との思いでした。しかし、学歌にあります『世界を 自分を 社会を 自然を』探究するということは、果てしない挑戦です。足を踏み入れたはいいものの、研究のために押さえておくべき多くの事柄を辿るだけでも大仕事でした。研究テーマの「社会的に孤立する若者の支援」では、例えば「ひきこもり」なら外へ連れ出せばいい、といったことでは解決しません。社会の制度、施策、資源などとの関わりの中で、「よりよい生」をどのように実現すればいいのでしょうか。孤立を余儀なくされている若者は、本来どのように生きるはずの存在なのか、彼らはどのような明日の社会を作っていく可能性があるのか、といったことを考えなければなりません。今回の卒業研究では、畑を耕し種をまく準備はできたかも知れませんが、芽が出たとはまだまだ言えません。ましてや花や実は見果てぬ夢のようにも感じます。

それでも私は、この開かれた大学で、これからも語り合い学びたいと思います。今日、この原稿を書いている手許に合格通知書が届きました。三度目の全科履修生として、挑戦を続けます。

退任教員の挨拶

景観探偵と中国の歴史書

秋山 元秀



面接授業では、景観探偵というテーマで京都や大津の町歩きをしながら、町や道のかたちやいろいろな形で景観に残る痕跡などから、その土地の歴史や地理のおもしろさを発見するという授業を行いました。いまテレビでブラ何とかという番組が人気ですが、私の方が先を行っている？という自負をもっています。とくに有名な寺社や歴史遺跡ではなく、町中の何でも無い道でも、その走り方から以前そこには水路が通っていたことがわかったりします。景観のなかに刻み込まれている歴史や地理を探り出す、それが景観探偵の醍醐味です。

勉強会(現在はセミナー)では、中国の古典、特に歴史の古典をとりあげ、白文のテキストを使う会読を続けました。司馬遷の史記、司馬光の資治通鑑などから、一回少しずつ読み解いていくことで、参加者の皆さんは、中国の歴史を直に体験することができたと思います。

どちらも私にとってもいい勉強になりました。お礼を申し上げます。

出逢い

石田 法雄

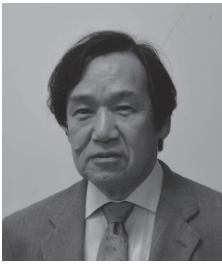


2006 年から 2020 年までの間、一時期離れましたが、客員教員として 11 年間の任期を終えました。勉強会・セミナーでは、英語・英会話・英語クイズ・宗教学・仏教、日本文化等様々なテーマを通して多くの学生さん達と出逢いました。面接授業では、ポップソング、オールディーズ、ビートルズなどを受講者と一緒に声高らかに歌ったことが忘れられません。遠くに引っ越しされた学生さんとのメール交換も貴重なものでした。また、事務局の方々はいつも優しく迎えて

下さり、事務室での一時は心地良いもので毎回長時間滞在し、お仕事の邪魔をしていました。結局 11 年間何をしたのだろうか振り返ってみると、一言では語れず、ただ様々な出逢いがあったことが思い出されます。それらの多くの学生さん達との出逢いを通して、「色々勉強になったなあ～」というのが実感です。感謝を込めてこれからも宜しくお願いいたします。

退任にあたって

梅澤 直樹



3月で客員教員としての任期を終えますが、昨秋に70歳を迎え、45年間の教員生活にほぼ区切りをつける時期と重なり、少し感慨深いものがあります。とともに、キャリアの最後に社会経験豊かな学生の皆様との学習会の機会を得たことの幸運をあらためて感じております。学習会では、現代は時代の大きな転換点ではなかろうかという問題意識を背景に、真の豊かさとは何か、あるいはそもそも経済とはいかなる営みかといったテーマを根源的に問い直す試みに挑戦してきましたが、振り返ってみて、自らの考えを的確に伝えたり、参加者の活発な議論を引き出したりする技量の拙さに忸怩たるものがあります。にもかかわらず、粘り強くお付き合いくださった皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。また、私としても学習会で得たものをさらに深めてゆきたいと思っております。最後に、さまざまな機会にほんとうにきめ細かくお世話くださった歴代の職員の方々に深謝致します。

退任職員の挨拶

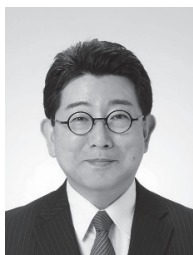
■ 広報担当：今井 弘樹

1年間という短い間でしたが、学生の皆さん、所長をはじめ職員の皆様に大変よくしていただき、よき月日、よき時間の流れの中で過ごせた事を感謝しています。皆様、どうもありがとうございました。放送大学の広報担当として微力ながら努めてきましたが、日々修学に励まれている皆さんのロコミこそが広報の力だと確信しました。これからも、放送大学の良さ、学ばれている皆さんの魅力を伝えていきたいと思えます。そして、今は、新型コロナウイルス感染が少しでも早く終息し、皆様にいつもの大学生活が戻ってくることを祈っております。ありがとうございました。



客員教員の紹介

荻田 純久 先生



さまざまな校種でカウンセラーとして仕事をすると同時にさまざまな高等教育機関で心理学の教育・研究を行ってきました。私の専門とする教育心理学や臨床心理学は現場のことが分からないとなかなかよい研究に結びつきません。そのため私は現場の先生方とのコミュニケーションを重視し、可能な限りカウンセラーとしての仕事も継続してきました。

セミナーでは、心理統計学の基礎を扱いたいと思います。心理学を学ぶ上で、研究を進めていく上で心理統計学は避けては通れません。また、公認心理師、臨床心理士等の試験を受ける際にも心理統計学の勉強が必要です。苦手だと思う方は是非とも参加して下さい。皆さんがしみじみと理解できるように説明をしたいと思います。

【関西学院大学教職教育研究センター准教授/専門分野:教育心理学・臨床心理学】

兼重 努 先生



客員教員を拝命して3年目となりました、兼重努と申します。引き続きよろしく申し上げます。専攻は文化人類学、地域研究。中国の少数民族文化、風水思想、積徳行、文化遺産などを研究しています。

本年度は、昨年度に引き続き異文化理解入門セミナーを開講致します。文化人類学における異文化理解の基礎的視点と方法論についてご紹介致します。私は、トン族というタイ系の少数民族を対象に、中国南部のトン族の村で長期のフィールドワークを行ってきました。折に触れて、その時の経験も皆様に紹介できたらと思っています。

【滋賀医科大学教授/専門分野:文化人類学】

川中 大輔 先生



社会が大きく変化する中で、20 世紀社会につくられた多くの仕組みが十全に機能しなくなっていることは既によく知られていることです。では、全ての人々が幸せに生きていくためには、どのような仕組みを新たに創り出していけばよいのでしょうか。この問いに対して社会的に探究し、具体的な実践を構想していく社会デザイン研究が私の専門です。特に市民社会からのイノベーションに関心を寄せており、現在は社会イノベーターと呼ばれる人々の成長過程に関する研究に取り組んでいます。今年度のセミナーでは、「社会を変える市民」はいかにして育つかという問いを掲げ、市民のあり方について考えていくこととします。

【龍谷大学社会学部講師/専門分野:社会学】

京楽 真帆子 先生

本年度より客員教員となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

専門は日本古代史ですが、特に、平安京の都市社会史と女性史・ジェンダー史を得意としています。歴史に安易なロマンを求めるのではなく、史実をしっかりと見据えた上で、今を生きるための糧としたいと考えています。藤原兼家の政治家としての能力に感嘆したり、紫式部の賢さに感動しながら、歴史を楽しみましょう。

新しい機会をいただきましたので、『栄華物語』を最初から読み直したいと思います。ゆっくりとしか進まないでしょうが、平安時代に親しんで頂ければと思います。

【滋賀県立大学人間文化学部教授/専門分野:日本古代史】

藤原 学 先生

2020 年度も客員教員を務めさせていただきます。専門は X 線を中心とした機器分析化学ですが、学生と協力して研究を続けているとさらに謎が増えていくような気がします。研究対象は、考古試料、環境試料、生体試料といろいろで、それぞれに特徴があります。2020 年度第一学期は「現代化学セミナー(化学の基礎から応用まで)」、第二学期は面接授業「これまでとこれからの化学」を行う予定です。すべての化学物質は原子核と電子からできており、化学物質の中では電子が重要な働きをしていますので、不思議な振る舞いをする電子を理解する必要があります。皆さんと一緒に、基礎から化学を勉強していきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【龍谷大学先端理工学部教授/専門分野:機器分析化学】

三ツ石 郁夫 先生

本年度から客員教員を務めさせていただきます。専門は近現代ドイツ経済史です。産業革命や西南ドイツの地域経済、そして戦後の地域金融や中小企業史などを研究しています。まだ西ドイツだった時代に留学して以来、たびたびドイツに滞在し、地域に残される多くの歴史の舞台や近代化の遺産を見学してきました。本で読んだ歴史の舞台などを自分の足で訪れ、それぞれの時代が抱えた問題に思いをめぐらせることはたいへん興味深いことです。

歴史は、「現在と過去との間の尽きることのない対話」(E. H. カー)と言われます。セミナーでは現代と結びついた歴史の魅力を、受講される皆さまとの対話のなかで語り合いたいと思います。

【滋賀大学経済学部教授/専門分野:近現代ドイツ経済史】

セミナー のご案内

滋賀学習センターの所長・客員教員が主催する学びの場です。受講は無料で、放送大学の学生、一般の方どなたでもご参加いただけます（一般の方は1つのセミナーだけ参加できます）。電話・窓口でお申し込みください。

以下の日程は急遽変更になることがあります。滋賀学習センターWEBページ及び掲示板でお知らせしますので、ご確認ください。

スポーツ文化論セミナー

【オリンピックと現代社会】

平井 肇 先生

オリンピックが、スポーツのみならず政治や経済、文化などさまざまな分野で社会に及ぼしてきた影響について考えてゆきます。2021年に延期となった東京オリンピック・パラリンピックについても、みなさんと語り合いたと思います。

4月 16日(木) 10:30~12:00	4月 30日(木) 10:30~12:00
5月 14日(木) 10:30~12:00	5月 28日(木) 10:30~12:00
6月 11日(木) 10:30~12:00	6月 25日(木) 10:30~12:00
7月 2日(木) 10:30~12:00	7月 9日(木) 10:30~12:00



心理統計学セミナー

【心理学研究に必要な統計学の基礎を学ぶ】

荻田 純久 先生

心理学を学ぶ際に統計学の学習は必要不可欠です。本セミナーでは、心理統計学について基礎からじっくりと解説していきたいと思えます。そして、簡単な研究論文を読破できる能力を身につけることを目標とします。

4月 10日(金) 15:15~16:45
5月 22日(金) 15:15~16:45
6月 12日(金) 15:15~16:45
7月 10日(金) 15:15~16:45



異文化理解入門セミナー

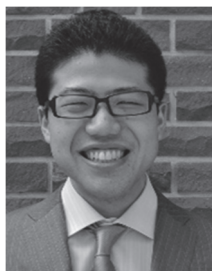
【文化人類学の視点と方法を学ぶ】

兼重 努 先生

文化人類学における異文化理解の基礎的視点と方法論について以下の2点を学びます。
①世界の諸文化を理解するための視点と方法論、②異文化を生きる人々の目を通して人生や世界を見るための視点と方法論。

4月 14日(火) 10:30~12:00	4月 21日(火) 10:30~12:00
5月 12日(火) 10:30~12:00	5月 19日(火) 10:30~12:00
5月 26日(火) 10:30~12:00	
6月 9日(火) 10:30~12:00	6月 23日(火) 10:30~12:00
7月 7日(火) 10:30~12:00	

NO
IMAGE



ソーシャルイノベーション研究セミナー

【「社会を変える市民」はいかにして育つのか？】

川中 大輔 先生

社会の大きな転換期にある中、ソーシャルイノベーションを巡る議論が盛んである。では、「社会を変える」とはどういうことなのか。その担い手たる「市民」はいかにして育つのか。これらの問いについて講究していく。

4月 17日(金) 13:30~15:00

5月 15日(金) 13:30~15:00

6月 19日(金) 13:30~15:00

7月 3日(金) 13:30~15:00



栄華物語を読むセミナー

【女性の視点からみた平安時代史】

京楽 真帆子 先生

『栄華物語』は、平安時代約200年間の貴族社会の様子を、仮名を使って物語風に描いた歴史物語です。前半部分は、赤染衛門が執筆したと言われています。その物語を歴史学研究の立場から輪読していきましょう。

4月 8日(水) 10:30~12:00

5月 13日(水) 10:30~12:00

6月 10日(水) 10:30~12:00

7月 8日(水) 10:30~12:00



現代化学セミナー

【化学の基礎から応用まで】

藤原 学 先生

化学は、物質の構造や性質について研究する自然科学の一つです。現代の化学を理解するには電子の観点から学ぶ必要があります。電子の世界から化学を学び、材料につながる応用まで一緒に歩んでいきましょう。

4月 15日(水) 13:30~15:00

5月 20日(水) 13:30~15:00

6月 17日(水) 13:30~15:00

7月 15日(水) 13:30~15:00



ドイツ現代史セミナー

【20世紀ドイツの歴史をたどる】

三ツ石 郁夫 先生

ドイツは 20 世紀において、帝政期とワイマール共和国、ナチ期や戦後分断国家などさまざまな時代を経験してきました。その歴史を、経済を中心に振り返ります。講義と討論を織り交ぜて進めます。

4月 14日(火) 13:30~15:00

4月 28日(火) 13:30~15:00

5月 12日(火) 13:30~15:00

5月 26日(火) 13:30~15:00

6月 9日(火) 13:30~15:00

6月 23日(火) 13:30~15:00

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第1学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システムWAKABAに登録されていることが必要です。大学本部での登録後、学習センターで発行することになります。
- * 学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。
- * 有効期限を経過したり、退学等により学籍を失った場合は、学習センターに返還してください。
- * 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。

☆詳しくは、「学生生活の葉」学部:18頁～20頁、大学院:24頁～28頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- * 「入構許可申請書」は「利用の手引き」最終ページに綴じ込んでいます。必要事項をご記入いただき、切り離して窓口にご持参ください。「入構許可証」を発行します。
- * 入構許可証は発行年度のみ有効です。

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生のみ利用できます。選科ならびに科目履修生は利用できません。

① 自宅の最寄り駅から学習センターに通学するための回数券(定期券不可)を購入できます。

- * JR西日本(2割引) 瀬田まで購入可
- * 京阪電車(2割引) 京阪山科・皇子山・京阪膳所・京阪石山まで購入可
- * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
- * 有効期限は、発行日から1ヶ月です。

② 自宅の最寄り駅から他学習センターの面接授業を受講するため・大学本部に通学するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道100kmを超える場合のみ)

< 科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。 >

- * JR(2割引) 例: 瀬田→(米原経由)→海浜幕張
- * 有効期限は、面接授業等の初日の10日前から終了日の5日後です。

☆詳しくは「学生生活の葉」学部:128頁～130頁、大学院:115頁～116頁を参照ください。

インターネット配信・インターネットラジオについて

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからないWi-Fi環境等での視聴を推奨します。

ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ)もご利用いただけます。詳しくは、<http://radiko.jp> をご覧ください。

放送教材(DVD・CD)の郵送貸出しによる学習について

ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

★詳しくは「学生生活の葉」学部:33頁～35頁、大学院:44頁～47頁を参照ください。

■貸出し期間及び貸出冊数

貸出し期間:14日間 貸出し数: 5枚以内

(発送作業は平日のみです。土・日・祝休日および年末年始、特別整理期間(2021年3月25日～2021年3月31日)は発送しません。)

■貸出しすることができる放送教材

学期の初めから単位認定試験期間終了まで	単位認定試験期間の翌日からその学期の終了まで
<ul style="list-style-type: none"> ・履修している科目 ・再試験を受験する科目 ・特別講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・開講中(第1学期は閉講後再試験科目を含む)のすべての科目 ・特別講義

図書・再視聴室の利用について

図書・再視聴室は図書資料や印刷教材(教科書)を書架より自由に取り出して閲覧できます。また、放送教材は登録科目にかかわらずどの科目でも、受付で許可を得てDVDプレーヤーやタブレット端末を使用して、任意の時間に視聴・授業の個別学習ができます。

■利用時間 : 9:15～17:45 ○大学院・学部単位認定試験中は利用時間が拡大されます。

■図書資料の貸出について

貸出しを希望する場合は大学本部の附属図書館を利用することになります。

・詳しくは「学生生活の葉」学部:112頁、大学院:100頁もしくは附属図書館のホームページ
(<http://lib.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。

■閉室日 : 毎週月曜日・祝祭日、9月24日～9月30日、2021年3月25日～3月31日

■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用する際には投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります。)

また、カウンターにメッシュケースを置いてありますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

長浜教室(再視聴施設)の利用について

長浜文化芸術会館のご協力を得て、館内に滋賀学習センター再視聴施設(長浜教室)を設けています。設置してある放送教材と視聴機器を使っていつでも利用できますので、施設の利用規則を遵守して、授業の個別学習などにお気軽にご利用ください。利用する場合は必ず学生証を提出して受付にお申し込みください。また、放送教材の配架を希望する場合は滋賀学習センターまでご連絡ください。



スケジュール



4 月			5 月			6 月		
日	曜	内 容	日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	水	第1学期放送授業開始(～7/14) 集中科目履修生募集要項配布(司書教諭～6/7) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(～4/19)	1	金	集中科目履修生出願受付・在学生科目登録(司書～6/7)	1	月	閉所日
2	木		2	土		2	火	
3	金	第1学期オンライン授業開始(～8/31まで閲覧可能)	3	日	閉所日(憲法記念日)	3	水	
4	土		4	月	閉所日(みどりの日)	4	木	
5	日	令和2年度 入学者の集い(中止)	5	火	閉所日(こどもの日)	5	金	
6	月	閉所日	6	水	閉所日	6	土	面接授業
7	火		7	木		7	日	面接授業 集中科目履修生(司書教諭)募集要項配布終了、出願受付締切
8	水	【セ】京楽10:30	8	金	第1学期通信指導提出期間【Web】(～5/29)	8	月	閉所日
9	木		9	土	面接授業	9	火	【セ】兼重10:30 【セ】三ツ石13:30
10	金	【セ】萩田15:15	10	日	面接授業	10	水	【セ】京楽10:30 2学期大学院修士選科・科目生、学部募集要項配布(～9/15) 2学期大学院修士選科・科目生、学部募集第1回出願受付開始(～8/31)
11	土		11	月	閉所日	11	木	【セ】平井10:30
12	日		12	火	【セ】兼重10:30 【セ】三ツ石13:30	12	金	【セ】萩田15:15
13	月	閉所日	13	水	【セ】京楽10:30	13	土	面接授業
14	火	【セ】兼重10:30 【セ】三ツ石13:30	14	木	【セ】平井10:30	14	日	面接授業
15	水	【セ】藤原13:30	15	金	【セ】川中13:30 第1学期通信指導提出期間【郵送】(～5/29)	15	月	閉所日
16	木	【セ】平井10:30 教員免許更新講習生受付開始(～5/21)	16	土	面接授業	16	火	
17	金	【セ】川中13:30	17	日	面接授業	17	水	【セ】藤原13:30
18	土	面接授業 第1学期面接授業空席発表	18	月	閉所日	18	木	
19	日	面接授業 滋賀大学附属図書館利用申請締切	19	火	【セ】兼重10:30	19	金	【セ】川中13:30
20	月	閉所日	20	水	【セ】藤原13:30	20	土	面接授業
21	火	【セ】兼重10:30	21	木	教員免許更新講習生受付期限	21	日	面接授業
22	水		22	金	【セ】萩田15:15	22	月	閉所日
23	木		23	土	面接授業	23	火	【セ】兼重10:30 【セ】三ツ石13:30
24	金	第1学期面接授業追加登録開始	24	日	面接授業	24	水	教員免許更新講習料払込期限
25	土	面接授業	25	月	閉所日	25	木	【セ】平井10:30
26	日	面接授業	26	火	【セ】兼重10:30 【セ】三ツ石13:30	26	金	
27	月	閉所日	27	水		27	土	
28	火	【セ】三ツ石13:30	28	木	【セ】平井10:30	28	日	
29	水	閉所日(昭和の日)	29	金	第1学期通信指導提出期限【Web、郵送】	29	月	閉所日
30	木	【セ】平井10:30	30	土		30	火	
			31	日				

◇表紙写真説明
令和2年2月9日に開催しました第4回公開講座の写真

【セ】=セミナー

